

2. 時間割作成のポイント

大学の時間割は自分で作成する必要があります。以下手順に沿って、自分の時間割を作成しましょう。
1年生春学期に履修登録できる最大単位数は、23単位です（スポーツ科目を履修した場合）。

	月	火	水	木	金
1限	★心理学統計法1 (B124001~0●●) (2)	★アカデミック ・スキルズ (2)	心理データ処理演習 (B124001~0●●) (2)		▲第二外国語B (1)
2限	▲インターミディエイト /エレメンタリー英語 リーディングA (1)	★心理学概論1 (2)	★現代心理学の 諸領域1 (2)		
3限	▲第二外国語A (1)		心理データ処理演習 (B1240●●~●●) (2)	▲インターミディエイト /エレメンタリー英語 コミュニケーションA (1)	心理データ処理演習 (B124●●~●●) (2)
4限	★心理学統計法1 (B1240●●~●●) (2)		心理データ処理演習 (B1240●●~●●) (2)		

※アカデミック・スキルズ、心理学統計法1、第二外国語A・B、心理データ処理演習は自動登録済みのため登録不要

※心理学統計法1、心理データ処理演習（点線枠）はクラス指定あり。クラスにより履修時限が異なる。

①学部固有必修科目（★）4科目を入れる 8単位

心理学統計法1、アカデミック・スキルズ、心理学概論1、現代心理学の諸領域1（上表★がついた科目）を入れる

※心理学統計法1：クラス指定あり（新入生ガイダンスにて案内）

②全学共通必修科目（▲）4科目を入れる 4^{*1}単位（計12単位）

■英語コミュニケーション、英語リーディングを1科目ずつ選択する（2単位）

- ・まずは各科目のレベル（エレメンタリー、インターミディエイト、アドバンスト）を選択 ※学生便覧 P75 参照
- ・次に各教員の授業内容をシラバスで確認し、履修するクラスを選択 ※履修可能なクラスは時間割表記載科目のみ
- ・アドバンストクラスは、月3・水3・木1（コミュニケーションのみ）に開講

■第二外国語A・Bは指定されたクラスが登録されている（2単位）※履修登録時に確認

※1. 第二外国語A・Bは2単位科目だが、履修登録単位数を計算する際は、各セメスター1単位で計算する。

（1年を通じて授業を行う「通年科目」は、単位数を2で割った数を、各セメスターの履修登録単位数としてカウントする）

③残りの時間に全学共通・学部固有「選択科目」を入れる 11単位（計23単位）

■「心理データ処理演習」を入れる（2単位）※クラス指定あり（新入生ガイダンスにて案内）

■スポーツ実技科目を1科目選択する（1単位）※1年生での履修を推奨 ※学生便覧 P23 参照

■その他の全学共通科目の中から4科目選択する（8単位） ※学生便覧 P23 参照

※自然・人間・社会の探究/複合領域は各領域で最低4単位を卒業までに修得する必要があるため、早めの履修を推奨。

《履修登録例》23単位登録した場合

【学部固有】心理学統計法1、アカデミック・スキルズ、心理学概論1、現代心理学の諸領域1、心理データ処理演習

【全学共通】インターミディエイト英語コミュニケーションA、インターミディエイト英語リーディングA、中国語基礎A、中国語基礎B、卓球I、文学（人間）、社会学（社会）、化学（自然）、ジェンダー論（複合）

3. 心理学部固有科目 注意事項（学生便覧 P28）

学部固有科目の注意事項について説明します。2年生以上で関係するルールもありますが、卒業に関わる重要な内容のため、学生便覧 P78 と併せて確認しましょう。

■1年生科目

アカデミック・スキルズ / 心理学講読演習 A （1年生）

教務センターでクラス分けと履修登録を行います。履修登録時に履修登録画面にて担当教員を確認してください。この科目の担当教員がクラス担任の役割を果たします。学生生活上の諸問題について遠慮なく相談してください。

心理学統計法 1 / 心理学統計法 2 （1年生）

教務センターでクラス分けおよび履修登録を行います。履修登録時に履修登録画面にて曜日時限を確認してください。

心理データ処理演習 （1年生）

選択科目ですが履修することが望ましい科目です。履修は1年生のみ可能です。

学籍番号別にクラス分けをしています。指定されたクラス以外は履修できません。

この科目は教務センターで履修登録を行います。履修を希望しない学生のみ、履修登録時に履修登録画面上で各自履修を取り消してください。

■上級生（2年生以上）科目

心理学基礎実験演習 1（心理学実験）・2 （2年生）

2年生開講の必修科目です。2年生春学期に「心理学基礎実験演習 1（心理学実験）」、秋学期に「心理学基礎実験演習 2」が開講されます。

この科目は履修登録の際、履修制限単位に含みません。（この科目を履修登録する学期は、履修制限単位数 24 単位+心理学基礎実験演習 2 単位の計 26 単位履修可能となります）

心理学課題演習 1・2 （3年生）

3年生春学期に「心理学課題演習 1」、秋学期に「心理学課題演習 2」が開講されます。必修科目のゼミナールです。

2年生春学期の GPA 順位によって、優先的に希望のゼミナールに入ることができる場合があります。

■必修科目積み上げ方式（履修条件）について《重要》

《心理学課題演習 1・2（3年生）の履修条件》

2年生必修科目、春学期開講「心理学基礎実験演習 1（心理学実験）」または秋学期開講「心理学基礎実験演習 2」の 2 単位を取得した者に限り履修できます。どちらも未修得の場合は履修できません。

また、原則「心理学課題演習 1」を履修した者に限り、「心理学課題演習 2」を履修できます。

《卒業研究（4年生）の履修条件》

3年生必修科目、春学期開講「心理学課題演習 1」または秋学期開講「心理学課題演習 2」の 4 単位を取得した者に限り履修できます。どちらも未修得の場合は履修できません。履修条件を満たさず、卒業研究を履修できない場合、4 年間での卒業はできず、卒業が最短 1 年延期されます。

4. 公認心理師について（学生便覧 P48～P50）

公認心理師とは心理職の国家資格です。公認心理師資格を取得するためには厳しい条件があります。以下内容とあわせて学生便覧 P48～P50 をよく確認してください。現時点で公認心理師を知らない学生も、今後ガイダンスやお知らせ等を通じて随時情報をお伝えしますので、確認してください。

■公認心理師とは

2017 年の公認心理師法施行により認められた、心理職において国内で初めてとなる国家資格。専門知識及び技術をもって「心の問題」を抱えている人およびその周囲の人に対して、心理状態の観察・分析、また解決に向かうための相談・助言・援助を行うことを職務とする。

■資格取得の流れ

①心理学部にて、**指定科目 26 科目**を修得して卒業 ※学生便覧 P49 参照

※必ず“在学中”に 26 科目すべてを修得して卒業する必要がある。卒業後に不足科目を補うことはできない

※1 年生履修可能科目は学部必修科目（心理学概論 1、心理学統計法 1）のみ

②大学院にて、指定科目 10 科目を修得して修了

③公認心理師国家試験に合格

■公認心理師科目履修条件（学生便覧 P48）

公認心理師となるために必要な科目のうち、3 年次春学期開講「カウンセリング基礎演習（心理演習）」および 4 年次開講「臨床心理学学外実習 A（心理実習）」「臨床心理学学外実習 B（心理実習）」（以下「心理演習・心理実習」と略す。）の履修にあたっては、**履修者数制限**と**履修条件**を設定する。

履修条件を満たした学生のみ「心理演習・心理実習」履修可否選考を受験できる。履修可否選考の結果、履修を許可された学生のみ、履修が認められる。履修が認められない場合、公認心理師受験資格を取得できない。

履修可能者数	30 名程度（当該年度生枠）
履修条件 （学生便覧抜粋）	（3）3 年次終了時点までに心理実習を除く 24 科目の単位を取得していること 4 年間ですべての科目を修得すればよいわけではない。計画的な履修が必要。 （6）公認心理師に関する所定の申請書類を提出すること 2 年次 2 月頃に「公認心理師受験資格に必要な科目（心理演習・心理実習）履修希望届」の提出がある。本届を提出しない場合、履修条件を満たすことができず「心理演習・心理実習」は履修不可となる。
履修可否選考内容	①公認心理師受験資格に必要な科目の単位取得状況 ②選考時点までのトータル GPA（GPA：成績の質を表すもの） ③所定申請書類の提出状況および内容

■注意事項

「心理演習・心理実習」選考時（3 年次春学期終了時点および 3 年次秋学期終了時点）までに履修条件を満たさない場合、「心理演習・心理実習」履修が認められず、公認心理師受験資格を取得できない。

公認心理師を目指す学生は、2 年次以降、計画的に公認心理師科目を履修・修得する必要があるため、早めに卒業後の進路について検討すること。

履修計画表:春学期

		月	火	水	木	金
1 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
2 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
3 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
4 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】
5 限	科目名 (単位数) 【教員名】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】	() 【 】

履修計画チェック表

項目	チェック
学部固有の必修科目のうち、春学期に履修できる4科目を全ていれましたか？	<input type="checkbox"/>
全学共通の英語科目は、心理学部が履修できるクラスをいれましたか？(時間割表要確認)	<input type="checkbox"/>
スポーツ実技科目 1 科目を入れましたか？	<input type="checkbox"/>
第二外国語を各 1 単位(A:1 単位 B:1 単位)で計算した上で、履修登録制限単位の 24 単位以下ですか？	<input type="checkbox"/>

履修に関する FAQ（よくある質問）

≪時間割を組むこと全般についての質問≫

Q 「時間割」をどのように組めばいいかわかりません。

「時間割作成のポイント」の手順で組んでください。

《履修登録例》の通り時間割を組み立てる場合、皆さんが選択する必要のある科目は以下の3つです。

- ①英語リーディング A・英語コミュニケーション A 各1クラス（便覧 P25 参照）
- ②スポーツ科目 1科目
- ③全学共通科目選択科目 4科目

授業内容は「シラバス」を、開講時限は「時間割表」を確認し、履修授業を選択してください。

併せて大学ホームページ掲載「授業ガイド」動画を見てください。

Q 「単位」とは何ですか。

履修した授業に出席し、一定以上の成績を修めると、その証明として学校から与えられるものです。

単位は数で表され、便覧（P23,27）科目名の後ろにあるカッコの中の数字が、その科目を合格した際に修得できる単位数を表します。心理学部を卒業するために必要な単位数は、「124 単位」です。4年間を通じて必要な科目を履修し合格することで単位を取得し、卒業までに 124 単位を修得する必要があります。

Q 何単位分履修登録をしたらいいですか。

履修登録制限単位数内であれば、履修登録する単位数は自由ですが、4年間で余裕も持って卒業できるよう、**可能な限り多くの単位を履修することを推奨します**。1年生春学期に履修登録できる単位の上限（履修登録制限単位）は「23」単位です（便覧 P22）。例年多くの先輩は 23 単位分の履修登録をしています。

Q 英語基礎科目クラスの選択ですが、自分のレベルがわかりません。

便覧 P25 の「受講対象者のレベルと到達目標」の表を参照してください。ベーシックのクラスは再履修者専用クラスのため、1年生は選択できません。なお、コミュニケーションとリーディングはレベルが異なっても構いません。

Q 英語基礎科目のアドバンストクラスを履修したいのですが、時間割表から見つけれません。

アドバンストクラスは、**インターミディエイト・エレメンタリークラスとは別の曜日時限で開講されています**ので、時間割表をよく確認してください。

Q A 先生の「文学」と B 先生の「文学」を同時に履修できますか。

同じ名称の科目を同時に履修することはできません。また一度履修をして合格した科目は、教員が違って再度履修することはできません。

Q スポーツ科目を1 Semesterに2科目履修登録することはできますか。

各 Semester に履修登録できるのは、**1科目のみです**（シーズンスポーツを除く）。 便覧 P24 参照

Q オンライン（遠隔）授業は時間割表に記載の曜日時限に必ず受講しなければなりませんか。
それとも何日か閲覧期間がありますか。

授業形態および教員により異なります。シラバスにて確認してください。

※遠隔（オンライン）授業形態

リアルタイム型：授業時間割に記載されている曜日・時限で同時双方向にて行う授業形態

オンデマンド型：リアルタイム以外のインターネット配信を利用した方式で行う授業形態

MaNaBo を通じて授業担当教員から講義資料が提示され、資料を参照して履修者は学習を進め、課題レポートの作成、提出を行う方法。

Q 今回の履修登録で全学共通科目は、各科目群から均等に履修しなければいけないですか。（例）4科目履修する場合、自然：1科目 人間：1科目 社会：1科目 複合領域：1科目

1年生春学期の履修登録では、必ずしも均等に履修する必要はありません。

ただし、各科目群の最低単位数4単位は、早めに修得することが望ましいです。

また、各科目群で指定された単位を超えて修得した単位は、選択科目（14単位）の単位としてカウントされます。

◀履修登録についての質問▶

Q

シラバスに掲載されているが、履修登録画面で表示されない授業があります。履修登録画面に表示されている科目のみ申請できるのでしょうか。

時間割表及び履修登録画面に表示されている授業のみ履修申請することが可能です。

例えば、第二外国語科目は、1年生は時間割記載（学部ごとに指定）の曜日時限のみ履修することが可能ですが、再履修生（上級生）は、その他曜日時限を履修することが可能です。シラバスでは、再履修生（上級生）用に新入生が履修できない曜日時限のクラスも表示される仕様となっています。

その他、クラス指定や履修条件等で一部シラバスに記載されていますが、履修登録画面に表示されない授業があるかもしれません。履修登録画面に表示される授業が現在履修申請できる授業となりますので、履修登録画面及び時間割表でご確認ください。

Q

第二外国語が希望の言語ではありません。どうしたらいいですか。

各言語には教育の質を担保するために、定員が設定されています。現在表示されている第二外国語については、厳選な抽選を行った結果によるものです。**変更することはできません。**

卒業に必ず必要な科目となりますので、現在登録されている言語で受講し単位を修得してください。

Q

【二次登録・履修修正期間】履修申請で抽選漏れとなった「英語基礎科目」のクラスが、履修申請画面で「定員残り●名」と表示されています。定員に空きがあるのでしょうか。

上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

英語基礎科目については、1年生定員と上級生定員をそれぞれ設定しています。「空きあり」と表示されている場合でも、上級生定員に空きがあるだけで1年生定員には空きがない場合があります。

落選した科目については、二次履修登録で履修登録しても再度落選してしまう可能性が高いため、別のコマ（レベルを変更するなど）で履修登録をすることをお勧めします。

また、二次履修登録の抽選でも落選した場合は履修修正期間に再度履修登録していただくことになります。

Q

【履修修正期間】二次抽選で落選した授業があった場合どうしたらいいですか。

また、履修が確定した授業を修正して、新しい授業を履修登録することはできますか。

二次抽選で落選した場合、4/6～の履修登録修正期間に追加登録を行ってください。

また、確定した授業についても修正することが可能です。履修登録修正期間で申請した授業は、先着順で、抽選にはなりません。申請できれば確定となります。

Q

履修登録した科目が MaNaBo に反映されません。

MaNaBo に履修科目が表示されるのは、次のタイミングです。

- ・一次申込期間（～4/3）申請し、当選した科目 → 4/4 の朝6時から反映されます。
- ・二次申込期間（4/4）申請し、当選した科目 → 4/6 の朝6時から反映されます。
- ・履修修正期間（4/6～4/12）に追加した科目 → 登録した**翌日の朝6時**から反映されます。